

令和元年第5回定例教育委員会

令和元年5月21日(火)午後2時30分

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月田健二	説明員	教育部長	萬直樹
	委員	支部英孝		教育部次長	伊藤忠信
	委員	橋本幸子		学校教育支援室長	
	委員	林大輔			谷口圭吾
	委員	須田壽美江		総務課長	近藤澄人
				学校教育課長	廣田修行
				教育支援課長	松井正行
				給食センター長	鈴木知幸
				対雁調理場長	佐藤友彦
				生涯学習課長	天野保則
				スポーツ課長	三浦洋
				スポーツ課参事	遠藤毅史
				情報図書館長	山本則行
				郷土資料館長	榎田智幸
				郷土資料館主幹	兼平一志
			記録員	総務課総務係長	嶋中健一
			傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 平成30年度学校評価の結果報告について
- (2) 江別市立学校に係る部活動の方針の策定について
- (3) 平成30年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告について

2 審議事項

- (1) 令和元年議案第26号
令和元年度教育行政執行方針(案)について
- (2) 令和元年議案第27号
令和元年度江別市一般会計補正予算について
- (3) 令和元年議案第28号
江別市奨学審議委員会委員の委嘱について
- (4) 令和元年議案第29号
江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱について
- (5) 令和元年議案第30号
江別市教育支援委員会委員の委嘱について
- (6) 令和元年議案第31号
江別市青少年健全育成協議会委員の補欠委員の委嘱について
- (7) 令和元年議案第32号
江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱について
- (8) 令和元年議案第33号
江別市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
- (9) 令和元年議案第34号
江別市文化財保護委員会委員の補欠委員の委嘱について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 令和元年第6回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長

(開会)

ただいまから、令和元年第5回定例教育委員会を開会いたします。
 本日の議事日程は、配付のとおりであります。
 会議に先立ち、本日の会議録署名人を、須田委員にお願いいたします。
 議事に入ります前に、お諮りしたい事項がございます。

議案第26号の令和元年度教育行政執行方針(案)について及び議案第27号の令和元年度江別市一般会計補正予算については、議会への申入れ前であるなど、一般に公開される前の教育予算案に対する意見の申出に関するものであり、率直な意見交換を行う必要がありますことから、秘密会による審議を提案するものでございます。

これにご異議ございませんか。

(一同了承)

委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第26号及び議案第27号は秘密会により進行いたします。

これら2件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、傍聴者入室のため暫時休憩いたします。

その後、配付の会議次第にしたがって進行してまいります。

また、ただいまの議案第26号及び議案第27号の2件の議案につきましては、関連がありますことから、一括説明、一括質疑、一括承認を諮る形で進めてよろしいでしょうか。

(異議なし)

そのように確認いたします。

<秘密会につき会議録省略>

委員会を再開します。議事に入ります。

1の報告事項(1)平成30年度学校評価の結果報告についての報告を求めます。

近藤総務課長お願いします。

近藤総務課長

報告事項(1)平成30年度学校評価の結果報告についてご報告いたします。

学校評価は、江別市立学校管理規則第10条の規定に基づき実施するもので、各校が自己評価を実施した後、各校の自己評価の結果について別途評価を行うものです。

資料の2ページをご覧ください。

この表は、各校から提出された自己評価書に記載の評価分野数、評価項目数、自己評価の達成状況、学校関係者評価による評価の状況を一覧にしたものであり、その説明を3ページ以降に記載しております。

3ページをご覧ください。

1の評価分野数及び項目数であります。江別市では経営方針の重点、教育課程・学習指導、生徒指導の3分野を必須とし、更に各校が独自に設定した分野を加え、全部でおおむね4分野から6分野で評価を行っております。また、各分野における評価項目数は、各校の判断に委ねており、評価分野数及び項目数については昨年度と大きな差はありません。

次に、2の自由選択した評価分野の主なものであります。必須の3分野以外で各校が自由選択した評価分野の主なものは、健康安全指導、保護者・地域との連携、特別支援教育の三つのほか、新たに特別な教科となる道徳に関わる評価分野を4校が設定しており、昨年と同様の傾向となっております。

次に、3の自己評価状況については、円グラフに記載のとおり、小学校では、良いというA評価は昨年度と同様の割合となっております。中学校では、良いというA評価は昨年より20.7ポイントほど増加しております。

4ページをご覧ください。

4の自己評価書作成に係る評価会議につきましては、開催回数が3回の学校が11校で最も多く、5回以上開催した学校も8校ありました。

次に、5の学校関係者評価についてですが、棒グラフに記載のとおり、小学校では自己評価の適切さ・改善策の適切さについて、良いというA評価の割合が、それぞれ95.5%、

	<p>98. 0%になっており、中学校においては、どちらも100%となっております。 5ページをご覧ください。</p> <p>学校関係者評価委員からいただいた意見総数は166件で、内訳は小学校が112件、中学校が54件となっております。この意見を大別して、評価の項目設定、評価の個別又は全般に対するものを分類A、分野に関わる改善方策や日頃感じていることなどを分類Bに分けますと、分類Aは24件、分類Bは142件で、そのうち主なものを5ページ及び6ページに記載しております。</p> <p>なお、別冊で学校ごとの自己評価及び学校関係者評価書を添付しておりますので、ご参照ください。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、平成30年度学校評価の結果報告について質問等がございましたらお受けします。</p>
須田委員	<p>評価会議の開催状況で、5回以上という学校が7校あり、一生懸命やっているなという印象ですが、5回以上と言うのは、最高で何回ぐらいの会議を行っているのでしょうか。</p>
近藤総務課長	<p>最高は北光小学校の8回で、それ以外は全て5回の開催という状況です。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございませんか。</p>
	<p>私から伺いますが、5ページの教職員に関する二つ目ですが、働き方改革については、先生方の時間外勤務が短くなればなるほど、最終的には子供に返っていくという趣旨の意見がありますが、子供たちに悪い影響を及ぼすのではないかという意味かと思えます。学校で知恵を絞って頑張してほしいということですので、先生方は今までどおり頑張してほしいという意味合いが強いのかなと感じました。</p>
近藤総務課長	<p>保護者の方は、そのように思っているのかもしれませんが、いかがでしょうか。</p>
月田教育長	<p>この件については、特に学校の教頭先生などにも確認はしていませんが、保護者の方もただいまお話があったような思いで、意見を書かれたのではないかと推測しています。</p>
支部委員	<p>ほかに質問等はございませんか。</p>
	<p>6ページの⑤、⑥、⑦ですが、⑤教育課程・学習指導に関する事で書かれていることの二つ目にある、普段の取り組みに自信を持ってよいという意見ですとか、⑥今日的な教育課題に関する事の一つ目にある、今年の新1年生が受入れ側になるのが楽しみであるという意見、二つ目の吹奏楽部の取り組みが素晴らしいという意見、⑦のその他でも、良い形で進んでいることが素晴らしいなど、非常に前向きな意見が出ています。こうしたことが、中学校などでは学力向上の結果につながっているのではないかと思いますので、このような評価を維持していくことができると考えています。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございませんか。</p>
	<p>(質疑終了)</p>
	<p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p>
	<p>(一同了承)</p>
	<p>次に、報告事項(2)江別市立学校に係る部活動の方針の策定についての報告を求めます。</p>
	<p>廣田学校教育課長お願いします。</p>
廣田学校教育課長	<p>報告事項(2)江別市立学校に係る部活動の方針の策定についてご説明いたします。</p>
	<p>資料の1ページをご覧ください。</p>
	<p>まず、策定の趣旨でございますが、部活動は、学校教育の一環として教育課程との関連が図られる必要があり、生徒の多様な学び場として教育的意義の高いものであります。</p>
	<p>部活動の実施に当たっては、生徒の学校生活等への影響を考慮した休養日や活動時間を設定し、けがの防止や心身のリフレッシュを図るほか、生徒のバランスの取れた生活や心身の成長に配慮する必要があり、また、教師の部活動指導における負担が過度とならないように配慮し、合理的でかつ効率的・効果的に行われる必要があります。</p>
	<p>こうしたことから、江別市教育委員会では、スポーツ庁及び文化庁が策定した部活動の在り方に関する総合的なガイドラインに則り、また北海道教育委員会が策定した北海道の部活動の在り方に関する方針を参考として、江別市立学校に係る部活動の方針を策定するものであります。</p>

	<p>次に、2の方針の基本的な考え方ですが、石狩管内の市町村教育委員会と連携して策定し、本市の地域性を踏まえた内容とします。策定する方針は、運動部活動と文化部活動を一体化した内容とし、令和元年10月から実施します。その後、各学校では学校ごとに部活動に係る活動方針を策定します。</p> <p>次ページをご覧ください。</p> <p>3の策定方法ですが、庁内検討会議の開催、関係団体との意見交換、議会への報告、パブリックコメントにより市民の意見を反映しつつ、方針の策定を進めていきたいと考えております。</p> <p>次に、4の策定スケジュールでございますが、概略を申し上げますと、今後、庁内検討会議を開催し、方針の素案を作成し、関係団体等との意見交換を行います。9月にパブリックコメントを行い、10月の定例教育委員会において方針の報告を行う予定でございます。</p> <p>なお、このスケジュールにつきましては、諸般の事情等により前後する可能性がございますので、ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、江別市立学校に係る部活動の方針の策定について質問等がございましたらお受けします。</p>
林委員	<p>これから部活動の方針を策定していくということですが、方針の基本的な考え方の中に、石狩管内の他市町村との連携を図ることが挙げられています。当然、先生方の転勤もありますので、このような形も必要だと思っておりますが、そこに江別市独自の地域性を踏まえるということも考えているようですが、どのようにバランスを取っていくのでしょうか。</p> <p>今の段階で分かっていることがあれば、伺いたいと思っております。</p>
廣田学校教育課長	<p>元々は国のガイドラインがあり、それに基づいて北海道教育委員会の方針が示されているわけですが、部活動の休養日ですとか、活動時間などの基本的な内容については、大方の決め事があるので、そこに準拠する形になると思っております。</p> <p>委員ご指摘のとおり、先生方は管内で異動することになるので、昨年は教職員の働き方改革の推進計画でも管内で統一的な動きを取った経緯があります。そこで、部活動についても同じような動きを取ろうとしています。その中でも、部活動指導員の関係など学校で困っていることを含め、学校や関係団体から意見を聴きながら、策定作業を進めていきたいと考えています。</p>
林委員	<p>江別市はいろいろな活動が盛んですので、お話のあった部活動指導員の問題も含めて、江別の良さを加えるような内容にさせていただけたらという希望を持っていますので、よろしく願いいたします。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございませんか。</p>
須田委員	<p>先生方の働き方改革にも関連しますが、部活動で強くなろう、中体連で頑張ろうという先生方もたくさんいらっしゃると思います。例えばある部活動は、いわゆる朝練もして放課後も練習するという話も聞いています。そうすると、部活動は何時間までと決めたり、休養日を設けたりしたときに、それをオーバーして活動した場合は、ペナルティのようなものを与えたり、指導を行ったりすることは考えているのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>現時点で、ペナルティのようなものは考えておりません。基本的には、休養日や活動時間については、基本のラインは決めますが、大会直前などは、集中的に練習ができるようにして、後にその分を回復するようなことを想定しております。そのため、ある程度は臨機応変に対応をしていくなかで、働き方改革も進めていきながら、子供たちの健康面にも配慮した部活動ができるようにしていきたいと考えています。</p>
月田教育長	<p>部活動も、先生以外の指導者がいてくれれば一番いいのですが、子供たちが部活動をするのは昼間なので、なかなか昼間に指導してくれる大人がほとんどいないのが一番の問題かなと思っています。</p>
月田教育長	<p>剣道や柔道などは指導をしてくれる方がいらっしゃるのですが、野球やバレーボールなどのスポーツは、なかなか指導してくれる方がいないので、市独自の方針を策定する際には難しいところになるのではないかと思います。</p> <p>ほかに質問等はございませんか。</p>

三浦スポーツ課長	<p>(質疑終了) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(3)平成30年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告についての報告を求めます。 三浦スポーツ課長お願いします。 報告事項(3)平成30年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告についてご説明申し上げます。 この書類は、5月10日に開催された財団の理事会において承認され、市に提出されたものであり、その概要につきましてご説明申し上げます。 財団の事業の状況及び処務の概要につきましては、第27期事業報告書の1ページから3ページに記載されておりますので、ご参照いただきたいと思います。 次に、4ページをお開き願います。 第3の計算書類等に関する事項、1の平成30年度収支計算書ですが、収入の部では1の基本財産運用収入の決算額3,002円は、基本財産3,000万円の預金利息であります。 2の事業収入のうち補助事業収入237万3,500円は、スポーツ大会参加料や健康づくり・体力づくりの受講料等であります。受託事業収入の1,438万2,360円は、屋外体育施設等の管理運営に関する収入であります。指定管理事業収入2億5,759万5,993円は、市民体育館を初めとする体育施設等の指定管理料、スポーツ教室受講料、体育施設等の利用料金であります。 3の補助金収入4,423万5,511円は、スポーツ大会等の事業運営に関する補助金であります。 4の雑収入566万9,157円は、預金利息及び自動販売機設置手数料等であります。 この結果、当期収入合計は、3億2,448万8,223円であり、前期繰越収支差額1,159万5,094円を合わせた収入合計は、3億3,608万3,317円となるものであります。 次に、5ページをご覧ください。 支出の部であります、1の補助事業費の決算額4,662万1,253円は、スポーツ大会開催事業費、健康体力づくり指導相談事業費、スポーツ指導者養成事業費のほか、これらの事業の管理運営に要した経費であります。 2の受託事業費1,351万304円は、屋外体育施設等の管理運営に要した経費であります。 次に6ページをお開き願います。 3の指定管理事業費2億5,956万1,841円は、屋内体育施設管理運営費、大麻集会所管理運営費、都市公園内の屋外体育施設管理運営費のほか、これらの事業の管理運営に要した経費であります。 4の自主事業費156万9,945円は、自主事業に要した経費であります。 5の特定預金支出200万円は、財政調整引当預金であります。 当期支出合計は3億2,326万3,343円であります。 この結果、当期収支差額は122万4,880円となり、前期繰越収支差額を含めた次期繰越収支差額は、1,281万9,974円となるものであります。 7ページの2収支計算書に対する注記から12ページの監査報告書まで、それぞれ記載のとおりでありますのでご参照いただきたいと思います。 以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、平成30年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告について質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 続いて、2の審議事項に入ります。</p>

<p>廣田学校教育課長</p>	<p>審議事項（３）令和元年議案第２８号 江別市奨学審議委員会委員の委嘱についての説明を求めます。 廣田学校教育課長お願いします。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>審議事項（３）議案第２８号 江別市奨学審議委員会委員の委嘱について、ご説明いたします。 奨学審議委員会は、修学能力があるにもかかわらず、経済的な理由により修学困難な高等学校生徒に、その修学に必要な資金の一部を貸与し、生徒が等しくその能力に応ずる教育を受ける機会を与えることを目的とする奨学資金貸与条例に基づき設置されているもので、奨学資金の貸与者を諮問する機関であります。現委員の任期満了に伴い、今回新たに委員を委嘱しようとするものです。 １の委員候補者につきましては、２ページの名簿に記載のとおりです。現委員からの継続が４名、新規の委員が４名、計８名となっております。 ２の委員の任期につきましては、令和元年５月２７日から令和３年５月２６日までとなります。 以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくご願ひいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 (質疑なし)</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>それでは、令和元年議案第２８号 江別市奨学審議委員会委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に、(４)令和元年議案第２９号 江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱についての説明を求めます。 廣田学校教育課長お願いします。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>審議事項（４）議案第２９号 江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱についてご説明いたします。 通学区域審議会は、児童生徒の通学区域の設定及び変更に関する事項を調査、審議し、教育委員会に答申することを目的として、条例に基づき設置されているところですが、現委員の任期満了に伴い、今回新たに委員を委嘱しようとするものです。 １の委員候補者につきましては、２ページの名簿に記載のとおりです。現委員からの継続が４名、新規の委員が公募委員の２名を含む７名、計１１名となっております。 ２の委員の任期につきましては、令和元年６月１４日から令和３年６月１３日までとなります。 以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくご願ひいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 (質疑なし)</p>
<p>松井教育支援課長</p>	<p>それでは、令和元年議案第２９号 江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に、(５)令和元年議案第３０号 江別市教育支援委員会委員の委嘱についての説明を求めます。 松井教育支援課長お願いします。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>審議事項（５）議案第３０号 江別市教育支援委員会委員の委嘱についてご説明いたします。 江別市教育支援委員会は、江別市教育支援委員会条例に基づき、障がいのある子供たちの適切な就学先について、調査、審議、答申を行う機関で、学識経験者、医師等を含む計１８名に委員の委嘱又は任命をしております。委員の任期は２年で、現委員の任期が令和元年５月３１日で満了となることから、今回新たに委嘱等をしようとするものです。 １の委員候補者につきましては、２ページの名簿に記載のとおりです。現委員からの継続が９名、新規の委員が９名、計１８名となっております。</p>

月田教育長	<p>2の委員の任期につきましては、令和元年6月1日から令和3年5月31日までとなります。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしく願います。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和元年議案第30号 江別市教育支援委員会委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
松井教育支援課長	<p>次に、(6) 令和元年議案第31号 江別市青少年健全育成協議会委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。</p> <p>松井教育支援課長お願いします。</p> <p>審議事項(6) 議案第31号 江別市青少年健全育成協議会委員の補欠委員の委嘱についてご説明いたします。</p> <p>江別市青少年健全育成協議会は、青少年の健全な育成を図るため必要な事項を調査審議するほか、いじめ防止等に関し関係機関及び団体の連携を図ることを目的に、江別市青少年健全育成協議会条例に基づき設置されているものであります。</p> <p>青少年健全育成協議会委員は、平成30年6月29日から2年間の任期で委嘱等しておりますが、退任や団体の役員改選などにより欠員が生じたことから、補欠委員の委嘱をしようとするものです。</p> <p>1の補欠委員候補者につきましては、記載のとおり北翔大学から推薦を受けた西出勉さんほか計4名に新たに委嘱をするものであります。</p> <p>2の委員の任期につきましては、本日から前任者の残任期間であります令和2年6月28日まででございます。</p> <p>3の委員名簿につきましては、新委員を含めた委員の名簿を2ページに記載しております。</p>
月田教育長	<p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしく願います。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和元年議案第31号 江別市青少年健全育成協議会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
天野生涯学習課長	<p>次に、(7) 令和元年議案第32号 江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。</p> <p>天野生涯学習課長お願いします。</p> <p>議案第32号 江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱についてご説明いたします。</p> <p>江別市社会教育委員の会議は、社会教育法第15条の規定及び江別市社会教育委員条例に基づき設置されているもので、社会教育関係の事業計画などを諮問する機関であります。</p> <p>社会教育委員は、平成30年8月から2年間の任期で委嘱しておりますが、4月1日付け人事異動等に伴い欠員が生じたことから、補欠委員について選考を進めておりましたところ、1の補欠委員候補者に記載のとおり、江別市小中学校長会から推薦を受けた江別第二中学校の加藤隆明校長を新たに委嘱するものであります。</p> <p>2の補欠委員の任期につきましては、前任者の残任期間とし、ご承認をいただく本日から、令和2年7月31日までの期間であります。</p> <p>3の委員名簿につきましては、新委員を含めた委員の名簿を2ページに記載しておりますのでご覧ください。</p>
月田教育長	<p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしく願います。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和元年議案第32号 江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱についてを承</p>

三浦スポーツ課長	<p>認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に、(8) 令和元年議案第33号 江別市スポーツ推進審議会委員の委嘱についての説明を求めます。 三浦スポーツ課長お願いします。 議案第33号 江別市スポーツ推進審議会委員の委嘱についてご説明いたします。 江別市スポーツ推進審議会委員につきましては、江別市スポーツ推進審議会条例第3条の規定に基づき11名の委員を委嘱しております。 委員の任期は2年で、現委員の任期が令和元年5月31日で満了となりますことから、今回、新たに委嘱しようとするものであります。 1の委員候補者については、2ページの委員名簿に記載のとおりでございます。関係団体等への推薦依頼を行ったほか、先の定例教育委員会でご報告した市民委員の公募により選考を進めたところ、現委員8名が継続となり、新しく委嘱する方は3名であり、そのうち1名が公募による方となっております。 2の委員の任期については、記載のとおり令和元年6月1日から令和3年5月31日であります。</p>
月田教育長	<p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくご願ひいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 (質疑なし) それでは、令和元年議案第33号 江別市スポーツ推進審議会委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。</p>
榊田郷土資料館長	<p>(一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に、(9) 令和元年議案第34号 江別市文化財保護委員会委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。 榊田郷土資料館長お願いします。 議案第34号 江別市文化財保護委員会委員の補欠委員の委嘱についてご説明いたします。 江別市文化財保護委員会は、文化財保護法第190条に基づき設置しているもので、文化財保護委員につきましては、江別市文化財保護条例の規定に基づき10名の委員を委嘱しております。 文化財保護委員は、平成30年8月1日から2年間の任期で委嘱しておりますが、4月1日付け人事異動により欠員が生じたことから、補欠委員について選考を進めておりましたところ、1の補欠委員候補者に記載のとおり、江別市小中学校長会から推薦を受けた大麻中学校長の浅田真さんを新たに委嘱するものであります。 2の補欠委員の任期につきましては、前任者の残任期間とし、ご承認いただく本日から令和2年7月31日までの期間であります。 3の委員名簿につきましては、新委員を含めた委員の名簿を次ページに記載しておりますのでご参照願います。</p>
月田教育長	<p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくご願ひいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 (質疑なし) それでは、令和元年議案第34号 江別市文化財保護委員会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。</p>
近藤総務課長	<p>(一同了承) それでは、そのように承認いたします。 続いて、3のその他、次回教育委員会予定案件及び日程について説明願います。 近藤総務課長お願いします。 次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、江別市議会定例会の一般質問について、審議事項として、指定管理施設の更新についてなどを予定しております。</p>

月田教育長	<p>また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、6月28日金曜日午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は6月28日金曜日午後2時30分からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第5回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>
-------	--

終了 午後3時36分

署名人(教育長) 月 田 健 二

署 名 人 須 田 壽美江